

JLL、4年連続で「ブルームバーグ男女平等指数」に選出

ワークプレイスでのジェンダー平等を推進する方針と実践で評価を獲得

(2023年2月1日にシカゴから発表されたリリースの翻訳版です)

東京 2023年2月9日 – 総合不動産サービス大手 JLL (本社: 米国シカゴ、CEO & プレジデント: クリスチャン・ウルブリック、NYSE: JLL) は、ブルームバーグが発表する上場企業のジェンダーデータ報告における透明性を示す指標「ブルームバーグ男女平等指数 (GEI) 2023」に4年連続で選出されました。本指標は、「リーダーシップ及び人材確保」「同一賃金及び賃金のジェンダー平等」「インクルーシブな文化」「セクシャルハラスメントに関する方針」「ブランド力」の5項目でジェンダー平等指数を評価しています。

JLL ダイバーシティ エクイティ & インクルージョン責任者 ナシュンダ・ウィリアムズは次のように述べています。

「JLL が『ブルームバーグ男女平等指数』に連続して選出されたことは、ジェンダー平等の推進と女性リーダーの能力向上への取り組みを証明するものです。DEI (『ダイバーシティ (多様性)』『エクイティ (公平性)』『インクルージョン (包括性)』) に優先を置くことは、私たちの企業文化を強くし、より良い意思決定を行い、お客様や地域社会に提供する価値を高めていきます。今後も、業界トップクラスの人材を惹きつけ、維持できるようなインクルーシブなワークプレイスづくりに努めていきます」

JLL は、ブルームバーグが設定したグローバル基準以上のスコアを獲得、高い水準の情報開示とパフォーマンスを反映しています。

ブルームバーグの会長で、米国 30%クラブの創業会長であるピーター・T・グラウアー氏は次のように述べています。

「2023年 GEI に選出された企業に対し、お祝いを申し上げます。ジェンダー関連指標における透明性という共通の目標を反映し、世界的な関心度やメンバー企業数は増加しています」

JLL は業界における体系的な課題に取り組み、多様な人材の獲得や育成、維持を優先しています。女性リーダーに対する投資という継続的なコミットメントの一環として、管理職のジェンダー比向上及び女性従業員へのリーダーシップ育成機会の提供に注力しています。さらに、JLL はより多様性、公平性、ジェンダーに配慮した世界の実現に向け、世界 29 の支部からなる「Women's Business Network」の拡大も続けています。

JLL の倫理感、企業の社会的貢献度、従業員に対するコミットメントは、お客様や第三者機関から世界的に高い評価を得ています。JLL は 2022 年、下記に選出されています。

- ドラッカー・インスティテュート「WSJ Management Top 250」
- エシスフィア・インスティテュート「世界で最も倫理的な企業」
- フォーチュン誌「世界で最も称賛される企業」
- フォーブス誌「America's Best Employers for Diversity」
- ニューズウィーク誌「America's Most Responsible Companies」
- Seramount's 「Best Companies for Multicultural Women」

JLL について

JLL（ニューヨーク証券取引所上場：JLL）は、不動産に関わるすべてのサービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。JLL は、最先端のテクノロジーを活用した価値ある機会、優良なスペース、環境に配慮した持続可能な施策をお客様、人々、コミュニティに提供し、不動産の未来を拓く取り組みを進めています。

フォーチュン 500 に選出されている JLL は、2022 年 9 月 30 日現在、世界 80 カ国で展開、従業員約 102,000 名を擁し、2021 年の売上高は 194 億米ドルです。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。[jll.com](https://www.jll.com)

お問い合わせ：広報担当（エイレックス）鈴木・吉岡

電話：03-3560-1289